



【造船技術探求フィールドワークⅠ】

《目的》

地元造船会社や、機器の製造開発をおこなう企業の見学を通して、各産業分野の仕事内容等を理解するとともに、地域産業への理解を深める。

《実施内容》

株式会社新来島どっく、株式会社三浦マニファクチャリングでのフィールドワーク

《取組》

- 日 時 平成28年11月8日(火)
- 場 所 株式会社新来島どっく 大西工場
三浦マニファクチャリング 北条工場
- 対 象 機械造船科1年生 40名
- 内 容 ・船の建造工程の見学
・ボイラ等の製造工程の見学



《生徒の感想・学んだこと》

- ・造船会社の広さに驚き、今治の造船業の素晴らしさを学ぶことができました。
- ・船のなめらかな曲線を人の手でつくっていることが印象に残りました。
- ・ミクロン単位で部品の機械加工を行い、細部まで徹底的に検査・試運転するミウラの技術や社員はすごいと思いました。
- ・自動で切断、溶接していた機械がすばらしいと思いました。
- ・地元の産業や、自分の将来について考えることができました。
- ・仕事に取り組む姿勢を見習いたいと思いました。
- ・今まで地元のことをあまり知りませんでした。この取組で、地元への興味・関心が深まりました。

《企業の方のコメント》

- ・溶接作業や機械加工の場面では、特に、興味・関心を持って見学している生徒が多く、積極的に取り組んでいた。
- ・将来の職業選択や、2年生からの造船コース・機械コースの選択のときの、参考にしてもらいたい。

《成果・今後の課題》

実施後のアンケート結果からは、「自分の将来の職業に対する意識の高まり」や、「地元産業への理解の深まり」等については、よい傾向が見られました。しかし、「課題解決に向けた行動力の高まり」については、改善の余地があるように思われました。今後の取組の中で、このような力も身に付けることができるよう取り組んでいきたいと思えます。

